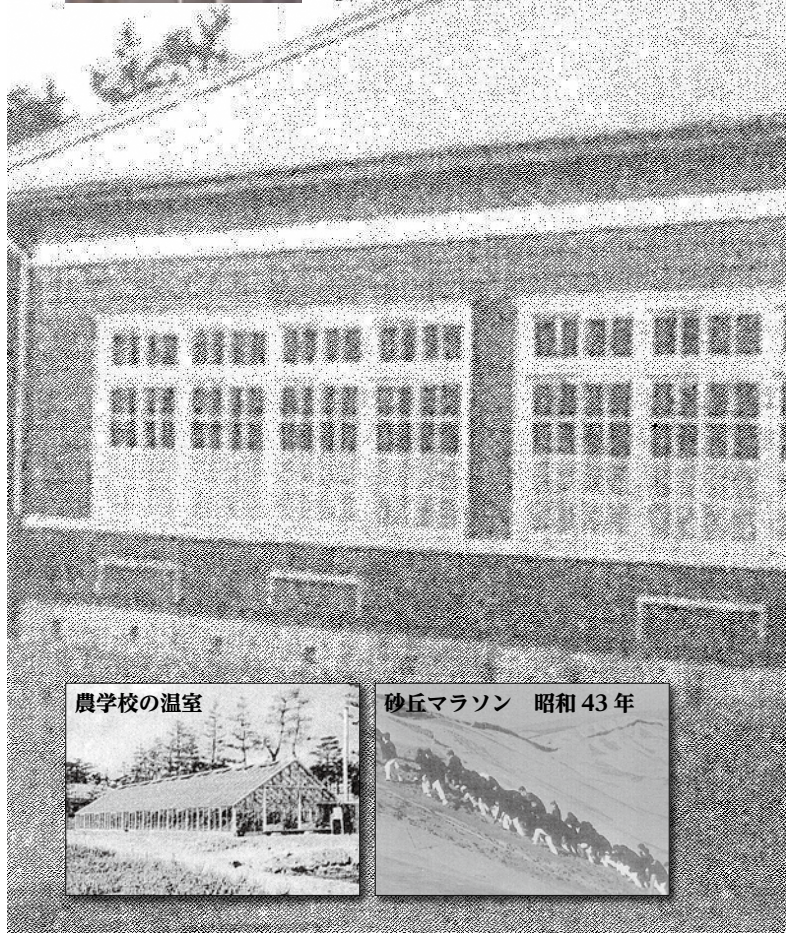


年次	内容
大正 8 年	笠南農業補習学校設立認可
15 年	笠南公民実業学校と改称
昭和 3 年	池新田村外 9 カ村組合立池新田農業学校設立認可
4 年	現在地に本館新築、4 月 28 日を開校記念日に制定
5 年	校旗制定
6 年	相良町が加入し池新田村外 10 カ村組合立となる
11 年	校歌制定
15 年	池新田村外 22 カ村組合立となる
16 年	池新田町外 22 カ村組合立となる
19 年	女子部付設認可
22 年	県立移管、県立池新田農学校と改称
23 年	学制改革、県立池新田高等学校へ 横須賀分校定時制課程設置認可
25 年	横須賀分校廃止
29 年	山内二郎さんアジア大会10000m出場
30 年	ユニバーシアード大会 5000m出場
33 年	アジア大会10000m出場
38 年	定時制課程募集停止
39 年	第 1 回砂丘マラソン大会開催
41 年	農業科募集停止
46 年	勾坂清貴さん 1500m全国高校新記録樹立
53 年	植田恭史さん アジア大会三段跳出場
54 年	同窓会館しづき寮落成
57 年	植田恭史さん アジア大会三段跳出場
59 年	ロサンゼルスオリンピック三段跳出場
63 年	秋季高校野球県大会優勝、春の選抜補欠校
平成 5 年	現在の校舎（普通教室棟）落成
15 年	丸尾記念館落成
18 年	県立袋井養護学校御前崎分校開校
20 年	県立袋井特別支援学校御前崎分校に改名
26 年	砂丘マラソン第 50 回記念大会
27 年	県立掛川特別支援学校御前崎分校に改名
令和元年	普通教室へエアコン設置整備（創立 100 周年記念事業） 創立 100 周年



初代校長 丸尾謙二

28 歳で校長に就任。私財を投入し、学校経営にあたった。建学の精神を「礼譲・勤労・協同」に表現。17 年間にわたり本地の教育で敏腕を振るった後、政界へと進出した。



で、現在の校名と同じ県立池新田高等学校（以下、池新田高校）になりました。当時は、普通科 100 人、農業科 100 人で、中学校も併設されていました。同年 9 月には定時制課程が併設。横須賀町に分校も開校しましたが、25 年 3 月の横須賀高等学校の独立によって分校は廃止されました。

その後、社会情勢の変化によって、大学進学希望者や農業以外の就職希望者が激増し、定時制と農業志望の学生は減少していきます。その影響で、38 年 4 月に定時制の募集停止、続いて 41 年 4 月に農業科も募集停止となり、普通科のみとなりました。こうした変遷を経ながらも同校は、本地域の重要な教育拠点として、今もなお大勢の卒業生を社会へ送り出しています。

県教委が統合計画を示す

県教育委員会は平成 29 年 11 月 14 日、県立高校第 3 次長期計画案をまとめ公表しました。計画は、2028 年度を目安に全日制の県立高校を 82 校に減らすというものです。少子化による生徒数の減少に備えるための措置で、2023 年度に伊東市にある伊

東、同校城ヶ崎分校、伊東商の 3 校を統合。2026 年度に本市に立地する池新田と横須賀の 2 校を、2027 年度には沼津市にある沼津城北、沼津西の 2 校を統合し、新しい高校に再編する予定としています。

県教委は、学校の活性化には多様な科目や部活動の維持が欠かせないとして、県立高校の適正規模を 1 学年 6 ～ 8 学級としています。今回の対象は、今後 10 年間で 1 学年が 4 学級以下に減ると見込まれる高校を再編整備の対象と位置づけています。

池新田と横須賀を統合する方針を巡っては、両市で高校存続を求める声が大きくなっています。計画案に対する意見公募の 570 件中、515 件が両校の統合に関する意見で、大半は統合に懸念を示す内容となっています。なお、この地区の新構想高校の設置場所の決定は 2021 年度末の予定です。

池新田高校出身の著名人

山内二郎	陸上選手 アジア大会出場
植田恭史	陸上選手 オリンピック出場
長尾 旬	元プロ野球
佐藤康幸	元プロ野球
清水園美	女優
栗山さやか	海外での 支援活動
MOCKY	Jam9/DJ